

「生活習慣」と「学力向上」

教育課長 館村 栄一

平成26年度も終盤を迎え、各校においては卒業式や学期末事務整理、そして、新年度の準備等で忙しい毎日をお過ごしのことと思います。今年度も残り数日となりましたが、先生方にはしっかりと児童生徒に学習のまとめをさせ、一人一人が意欲に満ちて新年度を迎えられるよう引き続き御指導をお願いいたします。

今年度、下北教育事務所が重点事業として展開して参りました「下北の子どもヘルスアップ事業」実施に際しましては、管内小・中学校の校長先生方はじめ、多くの先生方の御理解と御協力を賜り、今年度分を無事に終了できました。心より感謝申し上げます。本事業は平成27年度までの2か年の事業で、次年度は「下北の子どもと家庭のヘルスアップ事業」として拡充し継続実施することとなっております。下北の健康課題の克服に向けて、引き続き御協力くださいますようお願いいたします。

今年度の本事業への参加状況については、これまで折に触れ途中経過等を御案内して参りましたが、改めて最終版としてお知らせいたします。

1 参観日等講師派遣事業（参加者）

	保護者	児童生徒	計	実施校数
生活改善教室	500	1418	1918	小・中計17校
エクササイズ教室	633	1085	1718	小・中計27校（19会場）
合 計	1133	2503	3636	延べ 42校

2 下北の食材を活用したヘルシーな親子ご飯づくり講習会（参加者）

	保護者	児童生徒	計	会場数
ご飯づくり講習会	61	73	134	管内7会場

3 親子でつくる下北食材を活用したヘルシーなご飯レシピコンテスト（出品数）

	小学生	中学生	計	参加校数
お弁当部門	143	35	178	小学校16校、中学校16校
ワンプレート部門	479	248	727	
合 計	622	283	905	延べ 32校

4 生活習慣の見直しによる「意欲・体力・学力向上」講演会（参加者）

	保護者	職員等	計
2日間延べ人数	145	176	321

講演会では、東海大学の小澤治夫教授を講師にお招きし、『学力・体力・気力の向上は生活習慣の立て直しから』と題しまして、大間会場とむつ会場の2日間にわたり御講演くださいました。小澤先生は「運動する子と脳の発達」の関連から、「文武両道の子どもの共通点」として8箇条を提唱し、学力向上のためには「規則正しい生活習慣」と「自己管理能力の高さ」が必要であると強調し、ユーモアを交えながらエネルギーにお話しされました。また、小1から中3まで約3万人のデータを分析し、「だるい」とか「疲れやすい」という子の増加傾向に警鐘を鳴らし、「朝食をしっかりと食べていれば、学習意欲も体力も向上し、いい加減な生活をする子がいなくなる」と説いておられました。

「短命県返上」という言葉が頻繁に報道されるようになり、青森県の中でもとりわけ下北地区の児童生徒の健康状況が話題になっています。現状を正確に捉え、私たち教員が学校でできることをしっかりと児童生徒に手当てしていくことにより、必ずその成果が現れてくるはずです。「児童生徒の生活習慣の確立による学力向上」という大きなねらいを共有し、管内挙げて今後の教育活動に取り組んでいただくよう期待しております。



平成 27 年度学校教育指導の方針と重点

～授業の充実～

主任指導主事 氣 仙 宏

学校訪問や各事業に際して、多大な御理解と御協力をいただきまして、大変ありがとうございました。

今年度も、学校訪問等で、子供の「解きたい」「書きたい」「発表したい」「おもしろい」という思いを見て取れる授業場面を多く見ることができました。

そのような授業を見せていただくと、私自身も授業をしたいなと思ってみたり、授業されている先生と、授業についてや子供について色々語り合いたいなと思ってみたりもしました。

子供の「やる気」(内発的動機付け)が見て取れたときが、子供にとっても教師にとっても一番の喜びのように思います。とは言ってもこれが非常に難しく、やる気に満ちあふれた子供には、話ただけで伝わりますが、そうでない場合は、その子供の自己決定・自己表現を支える根気強い関わりが求められることとなります。

「下北の教育」の「授業の充実」の実践項目に、これに関わる部分を以下のように示しています。

児童生徒が主体的に思考・判断・表現する場（考える、作業する、話し合う、まとめるなど）を十分確保し、児童生徒の状況を的確に見取り、必要な指導や支援に努める。

ここでは「耕し」と「種まき」(文部科学省初等中等教育局 視学官 杉田洋)という働きかけも重要になります。「耕し」とは、学級の中の空気を作っていくような働きかけであり、その中心は人間関係づくりで、認め合い高めあう集団づくりが求められます。「種まき」とは実態調査を含めた、児童生徒に発言させたい内容や考えさせたい方向へと導くための呼び水のような働きかけのことです。

つまり、一人一人が考えたり、表現したりする場を確保するには、学びに向かう土台を築く学級づくりが必要となるということだと思えます。

目的と方法が明確な授業のねらいの設定や学習問題、学習活動、まとめの整合性、予想されるつまづきに対する手立て等を意識した授業づくりがかなり意識されてきている中、今後はより児童生徒の主体的な学びを目指した取組が求められます。

今年度、県の学習状況調査の意識調査に、新たに設定された「授業中の指導について」の項目があります。その内容は以下の4項目であり、その中の2についてのみ結果を掲載します。

- 1 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う」
- 2 「授業では、学級の中で、互いの考えを話し合う活動をよく行っていたと思う」
- 3 「授業の初めに目標が示されていたと思う」
- 4 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」

2 「授業では、学級の中で、互いの考えを話し合う活動をよく行っていたと思う」

	当てはまる・どちらかという当てはまる		どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない	
	下北	県	下北	県
中学校	70.7%	77.0%	29.3%	23.0%
小学校	81.9%	82.3%	18.1%	17.7%

今後は、「耕し」と「種まき」を意識しながら、一人一人が考えたり、表現したりする場を確保し、児童生徒の自己決定・自己表現を支える根気強い関わりにより、より一層の授業の充実を図っていくことで、確かな学力の向上が図られるものと思います。

そして、話し合いをはじめ、関わり合い、学び合い等も積極的に授業に取り入れるなどの工夫をし、児童生徒の状況を的確に見取り、必要な指導や支援に努めるとともに見届けのある教育活動に努めていきたいと思います。

以下に1月の「教育課題連絡会議」において示した重点事項を掲載いたします。

各学校においては、これらの重点事項について実態と照らし合わせながらさらに焦点化するなど、自校の教育活動を点検する観点及び次年度の教育計画の立案の観点の一つとし、御活用いただくことをお願いします。

授 業 の 充 実

- 目的（身に付けさせたい力等）と方法（授業の中心となる学習活動等）が明確な授業の「ねらい」を設定し、「学習課題（学習問題）」、「学習内容・活動」、「まとめ」、「評価」の整合性を図る。
- ねらいを実現するための手立て（教材・学習課題・見通し・調べ方・表現方法・まとめ方・振り返り等の工夫）を明確にした授業を構築する。
- 予想されるつまづき等に対する手立てを具体化した全員参加の授業を構築する。
- 児童生徒が主体的に思考・判断・表現する場（考える、作業する、話し合う、まとめるなど）を十分確保し、児童生徒の状況を的確に見取り、必要な指導や支援に努める。

特 別 活 動 の 充 実

- 学級活動において、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画させる活動や望ましい人間関係の在り方などを題材とした活動を積極的に行う。その際、話し合いやコミュニケーション能力を高める体験的な活動などを通して行う。
- 児童会活動・生徒会活動において、学年や学級、学校全体での児童生徒の活動から問題点等を出し合い、それを解決するための手立てを決めて取り組むなどの自主的な活動を、計画的・継続的に行う。

生 徒 指 導 の 充 実

- 協同指導体制の確立については、生徒指導の方針・基準、教師の役割分担を明らかにし、基本的な生活習慣の定着と自己指導能力の育成のための指導の計画・実践・反省・見直しを、生徒指導主任（主事）を中心として組織的に行う。
- 児童生徒の絆づくりにおいては、児童生徒自らが主体的に取り組む活動の中で、互いのことを認め合ったり、心のつながりを感じたりできるよう工夫する。

道 徳 教 育 の 充 実

- 児童生徒の道徳的実践力を育成するために、発問や板書等を工夫するとともに、書いたことを発表するだけに留まらず、考えを深め合えるような話し合いを目指した授業づくりを進める。
- 「私たちの道徳」の活用方針や活用方法等を、道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画に位置付けて共通理解を図り計画的に活用する。

体 育 、 健 康 教 育 の 充 実

体育

- それぞれの運動の持つ特性や魅力に応じて、運動の楽しさや喜びを味わわせることを学習の中心に据え、体力や技術の向上を図る授業実践に努める。

健康教育

- 健康に関する基礎的な理解や技能の習得を通して、児童生徒が健康課題に適切に対処し、健康な生活が実践できるよう家庭との連携を図る。

食育

- おやつの適切なとり方等、健康な食についての関心を高め、家庭と連携し、望ましい食習慣や食に関する知識と実践力を身に付けさせる。

キ ャ リ ア 教 育 の 推 進

- 学校や地域社会の実態に即して自校のキャリア教育における目標を明らかにするとともに、キャリア教育推進委員会等の組織を設置し、教職員の役割を明確にするなど、全教職員の協力により円滑に実践していく校内体制を整える。
- 体験活動を一過性のものに終わらせるのではなく、キャリア教育の視点でねらいを明確にし、他の教育活動と関連付けて事前指導・事後指導の充実を図る。
- 職場体験活動では、キャリア教育の視点でねらいを明確にし、他の教育活動と関連付けて事前指導・事後指導の充実を図る。

特別支援教育の充実

- 校内委員会等を組織的、計画的、弾力的に実施し、児童生徒の実態や具体的な支援内容等を明確にし、校内支援体制の充実を図る。
- 特別支援教育についての教員の理解を深めるため、校内研修と関連させるなどして、研修の充実を図る。
- 個に応じた指導を充実するため、児童生徒の障害の状態や学習の進度等を考慮して、個別指導や授業形態、集団の構成の工夫、児童生徒に関わる教師の専門性を生かした協力的な指導などにより、学習活動が効果的に行われるようにする。
- 個別の指導計画に基づいて行われた学習の状況や指導の結果を適切に評価し、目標や課題、具体的な手立てなどを必要に応じて見直し、指導の改善に努める。

環境教育の推進

- 環境教育の意義や必要性について全教職員で共通理解を図り、分掌を確実に位置付け、組織的・継続的に推進する。

情報化に対応する教育の推進

- 各校の情報教育推進における課題を明確にしながら指導体制を整備し、身に付けさせたい情報活用能力を発達の段階ごとに整理して、年間指導計画の作成や見直しを進める。
- 児童生徒の発達の段階に応じた指導内容を整理して、各教科等と関連させて情報モラル教育を行う。

研修の充実

- 学校の教育課題の解決に向けた校内研修となるような研究主題を設定し、全教員で研修計画を十分検討し、共通理解を図る。
- 研究計画の作成に当たっては、目指す児童生徒像を設定し、研究主題と研究目標、研究仮説、研究内容等との整合性を図る。
- 研究仮説の検証に当たっては、児童生徒の変容をとらえる観点を明確にするなどし、内容・方法・手順を明らかにして進める。

国際化に対応する教育の推進

- 我が国や郷土に関わる学習を踏まえ、異なった文化や習慣を理解し、それらに積極的に関わっていかうとする態度を育てる。
- 中学校においては、4技能のバランス及び実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮した言語活動を繰り返して体験させる。

へき地・複式教育の充実

- 複式学級において同単元同内容指導をする場合、それぞれの学年の発達段階を考慮した年間指導計画を作成するとともに、ねらいや評価規準の設定の仕方に配慮する。
- 合同学習や集合学習、交流学習を行う際は、集団としての望ましい人間関係の育成だけでなく、各教科等としての目標を達成するために、各学年のねらいや学習内容に配慮した指導計画を作成するとともに、指導体制の工夫をする。



今年度行われた独立行政法人教員研修センター及び県教育委員会主催の各種研修会等への参加状況をお知らせいたします。

◆教職員等中央研修

(中核教員研修) [つくば市]

田中 健一 (大平小学校教諭)

橋本 賢吾 (下風呂小学校教諭)

◆健康教育指導者養成研修 [つくば市]

(食育コース) 中村 佳未 (大平小学校栄養教諭)

(学校安全コース) 森 恭 (牛滝小学校教諭)

◆子どもの体力向上指導者養成研修 (東部ブロック) [新潟市]

畑山美和子 (第二田名部小学校教諭)

◆道徳教育指導者養成研修 (中央指導者研修)

[つくば市]

領毛 律子 (川内中学校教諭)

◆道徳教育指導者養成研修

(ブロック別指導者研修) [青森市]

高田 早苗 (大平小学校教諭)

石田 映子 (大平中学校教諭)

◆環境教育リーダー研修講座

[東京都千代田区]

木村 芳徳 (風間浦中学校教諭)



■県総合学校教育センター教員研修講座等の講師

○教務主任講座

齋藤 修一（福浦小学校教諭）

○養護教諭5・10年経験者研修Ⅱ

祐川 育子（第一田名部小学校養護教諭）

○学校安全教室指導者研修会小学校部会

星山 優（奥戸中学校教諭）

■県総合学校教育センター教員研修講座の発表者

○初任者研修(中)学級経営基礎講座Ⅰ

林 佳織（大間中学校教諭）

○初任者研修(中)教科等教育基礎講座Ⅰ

本間 政彌（大間中学校教諭）

○保健主事研修講座

山内 かよ（東通中学校養護教諭）

○学年経営研修講座

三浦 淳子（苫生小学校教諭）

○数学的に表現する能力を育てる中学校数学科教育講座

久保 優澄（むつ中学校教諭）

○気付きの質を高める小学校生活科講座

橋本 賢吾（下風呂小学校教諭）

■その他

○初任者研修実施協議会委員

北村 昭彦（大平小学校校長）

○環境教材等内容検討会委員

工藤 貴史（苫生小学校教諭）

○へき地・複式教育ハンドブック（国語科編）
作成委員

奥本香奈子（奥内小学校教諭）

○特別支援学級及び通級による指導のためのハンドブック作成委員

山崎るり子（大湊小学校教諭）

○特別支援学級等指導員

吉川 匡（第二田名部小学校教諭）

川島 信彦（大間小学校教諭）

藤本 陽子（東通中学校教諭）

○就学指導委員会専門員

安藤 出（第三田名部小学校教諭）

川岸 浩子（近川中学校教諭）

○地区就学相談・教育相談会相談員

山崎るり子（大湊小学校教諭）

■県総合学校教育センターの

教員研修講座の推薦等の受講者

○教頭のための学校経営講座

宮野 裕之（奥戸小学校教頭）

俣田 登（脇野沢中学校教頭）

祐川 達也（福浦中学校教頭）

○ミドルリーダー研修講座（前期・後期）

西澤 秀樹（大平小学校教諭）

○小学校体育科研修講座

稲寺 愛（大平小学校教諭）

金田佐知子（大間小学校教諭）

田中 道介（易国間小学校教諭）

石橋 学（蛇浦小学校教諭）

○保健・安全教育研修講座

山本 直子（東通小学校教諭）

船木芽衣子（牛滝小学校教諭）

高橋 剛志（田名部中学校教諭）

久保田 潔（東通中学校教諭）

○運動部活動研修講座

領毛 律子（川内中学校教諭）

長岡 亮（佐井中学校教諭）

○授業を変える！効果的なICT活用実践講座

山谷 優（大平小学校教諭）

○長期研究講座（教科等教育コース）

山田 武弘（大畑小学校教諭）

中村 久子（大平中学校教諭）

■表彰校等

○環境美化教育優良校等表彰

優秀校協会会長賞

風間浦村立蛇浦小学校

○優れた「地域による学校支援活動」推進に
かかる文部科学大臣表彰

第二田名部小学校学校支援地域本部

○平成26年度学校歯科保健優良校

小学校中規模校の部 県一

佐井村立佐井小学校

中学校小規模校の部 県一

佐井村立佐井中学校

○青森県学校給食表彰

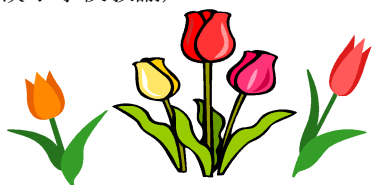
むつ市立川内小学校

○全国健康教育推進学校優良校

東通村立東通中学校

○ハートフルセミナー実施校

風間浦村立風間浦中学校



平成26年度 学習状況調査について ～学習状況調査結果等説明会より～

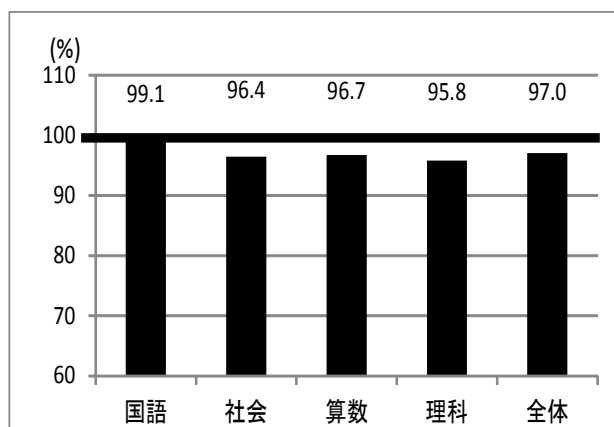
指導主事 長内 人志

青森県教育委員会では、平成15年度から今年度まで12回にわたり、学習状況調査を実施しております。本調査の趣旨は「県内公立小・中学校の児童生徒を対象に、全県的な規模で学習状況の調査を行い、学習指導要領における各教科の目標や内容の定着状況を把握し、学習指導上の課題を明らかにするとともに、各学校が指導の改善に活用することができるよう、県全体の調査結果と学習指導の改善の方向性を示した資料を作成し、本県児童生徒の学力向上に資する」であります。

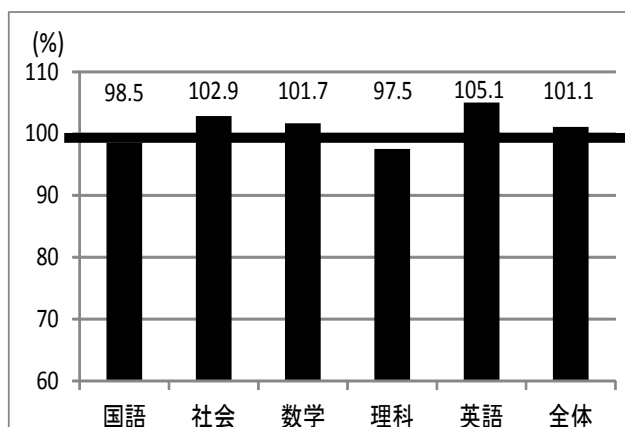
ここ数年の下北管内の調査結果を見ますと、各校のこれまでの地道な取組の成果が確実に現れてきており、県通過率を上回る教科が多くなってきております。特に、今年度の中学校の教科全体における県通過率への到達率は、過去12回の調査で初めて100%を超える結果となりました。（下記グラフ参照）

平成26年度 学習状況調査 各教科の到達率(%) (* 県通過率を100とした場合)

【小学校 5年】



【中学校 2年】



ただ、小学校、中学校の各教科におきましては、県通過率との差が縮まらない設問も依然として残っており、一層の取組の工夫が必要なもの事実です。

下北教育事務所では、平成20年度から下北管内の各町村において学習状況調査結果等説明会を行っております。今年度の学習状況調査結果等説明会は、2月中に風間浦村、東通村、佐井村、大間町の順で実施させていただきました。関係の教育委員会の皆様、各学校の先生方には、お忙しい中、御参集いただきまして大変ありがとうございました。今年度で7回目の実施でありましたが、回を重ねるごとに、説明の内容等を改善しながら実施させていただいております。今年度は、調査結果の概要説明の後に、小学校部会と中学校部会に分かれていただき、教科ごとに指導例等の説明をいたしました。

各学校におかれましては、今後とも、本調査の趣旨を御理解いただき、青森県教育委員会発行の『学習状況調査実施報告書』や下北教育事務所作成の『下北管内の分析と今後の指導』の冊子等を有効に活用しながら、自校の調査結果の分析を行うとともに、課題解決に向けての対策を共通理解した上で、授業改善に努めていただければと思います。

